

令和6年度 芦屋市自立支援協議会 実務者会の進捗状況について

1.今年度の取組内容と進捗状況

今年度の取組みは以下の計画でスタートした。

- ① 令和3年度スタートの新実務者会・専門部会システムから3年経過している。現在の実務者会、専門部会のあり方について振り返り、柔軟な発想で芦屋の部会制度について再度考える。
 - ② 過去の芦屋市自立支援協議会での取組みについて振り返り、評価を実施する。
 - ③ 課題抽出の仕組みである“座談会”でより多くの方から意見をいただくための工夫について検討する。
- しかし、今年度スケジュールを検討する中で今年度は①②に取組みについて深め、現在新たなシステム案を作成している。

2. 開催経過(予定)と協議内容

開催日・開催場所		概要
第一回自立支援協議会本会議で報告済み	●事前説明 令和6年5月23日 於：芦屋市保健福祉センター	今年度、新たに構成員になっていただく方へ前年度の報告と今年度の取組みについて説明会を実施した。
	●第1回 令和6年5月30日 於：芦屋市保健福祉センター	前年度の議論を振り返り、上記①②③の計画について今年度の取組み方針を検討。 ③の座談会実施については、今年度は根本的に見直しをする年とし、新たな地域課題抽出のための座談会の実施は見送ることとなった。
	●第2回 令和6年6月25日 於：芦屋市保健福祉センター	新システムになった過去の経緯を知らない新しい構成員も見直しの議論に参加できるように議論の土台を共有し、令和3年度に現在の仕組み(PDCA の実践)に変更した根拠について振り返った。 現在変更の根拠となった課題の解消ができているか検証を行った。
	●第3回 令和6年7月25日 於：芦屋市保健福祉センター	第2回の検証結果に基づき、さらに各部会の役割やシステムを進化させるための取組みを具体化するために、構成員の考えたプランを持ち寄った。 その各プランについて議論を行い、今年度の取組み方針の基本案をまとめた。 1. 自立支援協議会の担い手を増やすために、自立支援協議会の役割や実績について周知する。例えば SNS などの活用など。 2. 今までの座談会をより良いものにするために、座談会の工夫やその他の意見収集の仕組み等を用いてより多くの人からの課題抽出するための方法について検討する。 3. 「やりっぱなし」にしないため検証を行い、評価について検討する。

第二回自立支援協議会本会議で報告済み	●第4回 令和6年8月27日 於：芦屋市保健福祉センター	「お題1：担い手の不足解消」「お題2：広く当事者から地域課題を聞く」「お題3：取組みをやりっぱなしにしない」ための取組み案として、 ①自立支援協議会の周知、②目安箱、オンラインフォームを活用した意見集約、座談会の改良。③やりっぱなしにしないための評価・検証システムに取り組むという基本方針のもと、具体的にどう取り組むかについて検討を実施した。
	●第5回 令和6年9月24日 於：芦屋市保健福祉センター	■広く意見を聞くために フォームの活用について詳細議論をした。 ・一般市民を対象にフォームのQRコードを広報あしやへの掲載。 <決定したフォーム作成原案> テーマ：自立支援協議会を知ってもらおう。過去の実績の説明をしておく。福祉関係者以外の人でも答えやすいものにする。 項目：年齢・性別・住所・所属・障がいのある人が身近にいるか・イベント参加の経験 質問：あなたにとって「みんなにやさしい芦屋」とはどんな街でしょうか。
	●第6回 令和6年10月28日 於：芦屋市保健福祉センター木下先生 SV	新PDCAサイクルの素案をまとめるため、「評価」とは何かについて議論を行い、木下先生からのSVを受けた。
	●第7回 令和6年11月26日 於：芦屋市保健福祉センター	前回の会議内容を踏まえて、次年度以降の実務者会・専門部会の仕組み案について検討した。 ① 実務者会＋専門部会で実質2年任期) ② 実務者会・専門部会で合同会議を開催する。 ③ 専門部会において取り組みの自己評価を行う。 ④ 座談会については目安箱、フォームなどによる意見が集まる仕組みを併用する。
第三回本会議報告内容	●第8回 令和6年12月23日 於：芦屋市保健福祉センター	「令和7年度座談会について」、「過去の取り組み評価について」具体案の検討 ① 次年度専門部会を設置しない ② 今年度の実務者会構成員が R7年度実務者会の構成員として引継ぎする。 ③ 過去の振り返りについては改めて行うことはせず、今後目安箱、フォームを活かして実際に使っている人に意見を聞くなど適宜、実態調査を行う。 ④ R7年度の実務者会構成員は2月に増員も含めて案を検討する。
	●第9回 令和7年1月28日 於：芦屋市保健福祉センター	① 今年度の取り組み報告（自立支援協議会の周知カードの配布報告・「やさしい芦屋」集計報告） ② 令和7年度 座談会・目安箱・フォームの活用について議論を行った。
	●第10回 令和7年2月25日 於：芦屋市保健福祉センター	① 令和7年度実務者会スケジュールの検討と決定。 ② 座談会と並行して目安箱・フォームの募集実施することとなった。 ③ ターゲット層は“障がいに関わりのある人”とし、目安箱・フォームの内容、設置場所、集計時期について引き続き検討することとなった。 ④ 来年度実務者会構成員を4名増やし、12名とする案を作成した。
	●第11回 令和7年3月18日 於：芦屋市保健福祉センター	前回議題の引き続きと、木下先生による、今年度実務者会での取り組みについて講評をいただく予定。